

平成25年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録 【要旨】

開催日時	平成26年2月4日（火） 14時01分～16時03分
開催場所	平塚市中央図書館 ホール
出席者	委員 葛西 裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山 真由美 委員 大河原 将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸社会教育部長 和田芳男中央図書館長 池田教正北図書館長 脇孝行西図書館長 富田和博南図書館長 加藤祥管理担当長 菊坂伸江奉仕担当長 山田剛弘管理担当主査
欠席者	委員 加藤 利雄 委員
傍聴人	3名

会議の概要

1 あいさつ 葛西裕美子会長

2 議 事

(1) 平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定

【事務局】 資料1-1「平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定状況及び懇話会等の想定内容」資料1-2「平成26年度子ども読書活動推進計画（第三次）の策定スケジュール」資料1-3「平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定概要」資料1-4「平塚市子ども読書活動推進計画（第二次）」を基に説明を行った。

【委員】 子ども読書活動推進懇話会の公募市民の募集チラシの配架場所を確認したい。

【事務局】 図書館協議会の公募委員募集チラシの配架場所に加え、子どもの家や福祉会館、保健センターなどに配架を行った。

【委員】 策定状況は理解したが、この計画策定に関わった者としては、資料1-4「子ども読書活動推進計画（第二次）」の説明も少し欲しかった。

【事務局】 今回は、計画の各事業などの詳細はここに掲載されているので説明は省略した。次回以降の協議会では、進捗状況だけでなく、計画の骨子や各事業の見直し状況などを報告させていただくことを予定している。計画の骨子などの意見交換は、子ども読書活動推進懇話会で主に行うが、ここでも意見をいただき反映できるよう努めたい。

(2) 新たな図書館歳入事業の検討

【事務局】 資料2「新たな図書館歳入事業の検討」を基に、現在の図書館の歳入事業の概要や平塚市の歳入確保の取組を中心に説明を行った。

【委員】 施設利用の促進で、打診がないと説明があった太陽光発電装置の設置は、使用できる屋根の面積など必要な情報が公開されていなければ打診はないと思う。これは、積極的に公開する必要はないが、中央図書館の年間来館者は40万人程度あり、市の施設の中でも1、2を争う施設だと思う。これが自動販売機からの収入につながっているの、こうした情報はホームページなどに公開すると、話が進展する可能性があると思う。ただし、施設の中には、携帯電話の基地局など、過去に電磁波の問題で反対があったものもある。仮に打診があった場合は慎重に行う必要がある。

【委員】 図書館や平塚市の取組は理解した。継続して研究に努めて欲しい。これに加えて他市

の図書館の歳入事業の研究をした方が良い。例えば①「鎌倉市図書館の図書館振興基金」②「横浜市立中央図書館の開館20周年 図書寄贈」③ 座間市図書館の映画の上映収益を図書館の資料費に充てる取組は参考になると思う。平塚市でも読書活動推進フォーラムなどのイベントを実施している。入場料を徴収するのは難しいと思うが、イベントでの物品の販売の一部を図書館資料費に充てるなどの方法は検討の余地があると思う。

【 会 長 】 今の委員の話題は興味深い。次回の協議会は他市の図書館の歳入事業について情報提供をいただき、協議したいが良いか。

【 委 員 】 異議なし

(3) 学校図書館と平塚市図書館の連携

【 事務局 】 資料3-1「学校図書館の利用状況と運営の課題一覧」を基に、市内小中学校の学校図書館の図書の貸出状況や、学校図書館活用事業報告書等から要約した課題の説明を行った。さらに、学校図書館関係の委員に対し、数字には表れない学校図書館の実態の情報提供を依頼した。

【 委 員 】 中学生が小学生に比べて学校図書館の貸出実績が少ないのは、読書活動以外にもすべきことが多くなる点。もう一つは、朝や中休みなどの小学生が読書に充てている時間がない点がある。ただし、中学校では、調べ物学習や生徒が本を持ち込んで学習するなど貸出に限定されない学校図書館の利用がある。

【 委 員 】 過去に学校司書した経験の中で、担任の先生がきっかけづくりをすると貸出回数が増えた事例がある。さらに授業と連携し、ますます学校図書館の利用が進むという好循環ができた。

【 委 員 】 以前、視察に行った私立中学校では、専門図書がある図書室が理科室と同じ階にあり、さらに貸出用図書がある図書室が利用がし易いホールのそばと他の教育機能と一体化した理想的な読書環境を形成していた。公立学校で同様の環境を整備するのは困難だが、図書室に入りやすい環境づくりや学校図書館の啓発などは、参考になるものも多く、公共図書館も模倣する余地はあると思う。

【 委 員 】 小学校では、市内28校の全校に学校司書が配置された。本校でもそうだが、この学校でも司書教諭や学校司書に限られた時間の中、非常に良くやっており、大半の児童が学校図書館を利用している結果が出ていると思う。さきほど委員からもあったように、学校図書館関係者だけでなく担任の教師などの積極的な働きかけの影響も大きいと思う。

【 事務局 】 資料3-3「公共図書館が実施している学校(図書館)との連携事業の紹介」 資料3-2-3「平塚市図書館の学校支援事業について」 資料3-2-1、2「学校司書向けアンケート(平成26年1月実施)」を基に、現在の公共図書館の学校図書館支援事業の現況や、学校図書館の課題把握の取組の説明を行った。

【 委 員 】 一つ一つは知っていたが事務局の説明を聞くと支援内容が多岐にわたることを改めて認識した。将来、平塚市の図書館が、委託や指定管理になった場合は、このような支援体制が可能なのか疑問がある。

【 委 員 】 公共図書館の資料提供には限界があるが、情報提供にはない。今後も継続して欲しい。さらに、制限を緩和して、学校間や学校図書館から公共図書館の図書の融通ができる仕組みがあると良いと思う。

【 事務局 】 学校図書館から公共図書館の図書の融通は課題図書の一部で実施しているが、

システムが異なるため登録のやり直しなどの手間がある。制限だが、制度よりも物理的な問題が大きい。公共図書館からの図書の融通は、近隣に公共図書館があれば、需要には十分対応していると思うが、そうでない学校や学校司書の方が車の運転できなかつたりすると厳しい場合がある。要望が多い部分であるが、公共図書館も職員に限られており対応には限界がある。

- 【委員】 小学生時代に夏休みの宿題で、課題図書の入手に苦労した記憶があるが、課題図書の貸出の現況を伺いたい。
- 【事務局】 課題図書の分散等で、以前ほど入手困難ではない。しかし、学校図書館が夏休みに入る期間は、御指摘のように貸出が集中する傾向がある。
- 【会長】 実際に学校図書館の現場にいる方の意見をここで発表できるとさらに良い提案が生まれるのではないかと思う。次回の協議会でも検討を深めていきたい。

(4) その他

- 【委員】 委員提供資料「市民の自立を助ける図書館」ほかを基に、公共図書館の今後のあり方についての識者からの意見紹介があった。
- 【質疑】 なし
- 【事務局】 参考資料「武雄市図書館に訪問してみた」「国会図書館の資料が閲覧可能に」を基に説明を行い、前回の図書館協議会でも検討した図書館運営に関する話題も今後情報提供を行っていききたいと述べた。
- 【質疑】 なし

3 その他

- 【事務局】 その他資料1「次年度の教育委員会の点検評価・評価報告書作成に向けた意見等」を基に説明を行った。
- 【質疑】 なし
- 【事務局】 その他資料2「次回の図書館協議会について」を基に、次回の日程と先進図書館の視察の場合には候補地の検討の依頼を行った。
- 【会長】 欠席委員もおり、年度替わりの時期でもある。本日日程を決めるのは難しい。その他資料1のアンケートの提出時期の頃に改めて通知することで良いか。
- 【事務局】 御指摘のとおりであり、日程調整後、来月をめどに後日通知することとしたい。
- 【会長】 最後に閉会の挨拶をお願いする。
- 【事務局】 次回の図書館協議会は、図書館事業にさらに民の力を生かせるように「新たな図書館歳入事業」と、学校と社会教育施設の連携をより一層深めるべく「学校図書館と公共図書館との連携」の2つのテーマの意見交換ができるようにしたい。また、事務局としても、本格的に子ども読書活動推進計画（第三次）の策定に本格的に着手するのでこれを報告し、その他に図書館運営なども新しい動きがあれば情報提供したいと考えている。さらに、会議の中で本日のような委員相互の意見交換の割合が多くなるように努めていきたい。
- 【会長】 閉会を告げた。

以上